

校長室
だよ！

おみっ子

通信

令和5年6月29日

麻績小学校

No. 4



思い合いの心でみんなが笑顔！

6月4日に行われた「運動会」には、多くの保護者の方にご来校いただき、子どもたちの「くじけない姿」に、たくさんの声援をいただきました。ありがとうございました。

今回のおみっ子通信は、運動会後の6月の様子をお伝えします。

ランチルーム給食再開

コロナ禍で、しばらく各教室で給食を食べていましたが、全校が集まって食べる給食を再開しました。ランチルームの壁には、全校児童と職員の似顔絵カードが貼ってあり、その日が誕生日の子は全校の前で紹介され、みんなから祝福を受けます。

おなかも、心も温かくなるようなランチタイムを全員で過ごしています。



インタビューを受ける誕生日の子

小中連携、北部三校交流

新聞にも載りましたが、世界的に有名なデザイナーであるトロールバック氏の講演が中学校で行われ、本校からも5、6年生が参加しました。このような貴重な機会が小学校と

中学校で共有され、共に学ぶ空間が実現できることは、小規模校である麻績小学校のよさであり、大きなメリットです。

また、同じく、小規模校である北部の小学校（筑北小・生坂小）とは、職員がオンラインで連絡を取り合い、可能な範囲で交流活動や合同授業などに取り組もうとしています。どんな交流ができるか、楽しみです。



オンライン会議



公演後の記念撮影

水泳学習に向けて

いよいよプールの季節が近づいてきました。子どもたちは、各学年で分担し、力を合わせてプールの清掃に取り組みました。ピカピカに磨き上げて、水泳を楽しむにしている子が多いようです。

安全には万全を期しますが、万が一の時は職員が子どもの命を守るよう、救急法の講習会も行いました。（希望するPTAの方も参加してくださいました）保護者の皆様も、子どもたちが安全に水泳学習に取り組めますよう、毎日の健康観察等にご協力ください。



AED操作を体験



デッキブラシでゴシゴシ

学校より

6月には、PTAの評議員会と民生児童委員のみなさんとの懇談会がありました。どちらの会でも、村の少子化が話題になりました。麻績小学校が全校児童85人の小規模校であることは事実ですし、子どもにとっては、メリットもあれば、デメリットもあります。私たち学校職員は、このことを常に念頭に置き、デメリットはなるべく軽減し、メリットを最大限生かしていきます。それが、「麻績小らしさ」であり、「麻績小のよさ」になると考えています。